

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
学校図書

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	- 教科書は「読み物教材」と「発問」とで構成されており、発問の中には「考えよう」「見つめよう」「意見交換」が位置付けられ、課題や内容項目に応じた言語活動の充実を図ることができる構成になっている。 - 学期ごとに4つの視点の学習がまんべんなく取り上げられており、バランスよく教材配列がされている。 - 学年の段階ごとの発展性を考えた体系的なものとなるよう、教材の構成・配列が配慮されている。
2 主体的な態度の育成	「学びの記録」のページが設けられており、生徒が書き込みをした教科書を持ち帰り、学校での学習を家庭や地域と共有することができる配列になっている。 - 各学年に「自主、自立、自由と責任」等の内容項目にからめて、情報モラルの問題が過不足なく扱われている。 - 道徳的価値を深めたり、多面的・多角的なものの見方や考え方を促したりする「心の扉」というページがあり、授業導入や終末で活用できるようになっている。
3 上記の他、学習指導要領に示された内容や内容の取扱い、評価	- すべての教科の基盤となる、互いを尊重しあう学級集団育成のための「学級集団づくり」のページを各学年冒頭に設置している。 - 国語、社会、理科、家庭、音楽など、他教科と関連する題材が積極的に取り入れられている。 「学びの記録」により、学期毎や一年間に学習した内容を振り返り、評価できるようになっている。
4 「地域社会人」の育成	長く親しまれ続けてきた伝統文化とともに、意識的に守り続け価値づけていく伝統文化を取り上げ、文化の担い手としての意識を高める教材が各学年1時間以上配置されている。第1学年で「飛騨の匠の造った家」が取り上げられている。
5 印刷・造本	- ユニバーサルデザインの視点から、全ページにわたり配色とデザインに十分な配慮が施されている。4つの視点アイコンを4種のテーマカラーで表示されている。 - 印刷は鮮明で、絵や写真も効果的に配置されており、UDフォントを使用し、視覚性に対する配慮がされている。
6 総 評	- 学年の段階ごとの発展性を考えた教材配列が配慮され、言語活動の種類や分量、教材の構成・配列、内容項目相互の関連性やねらいに応じた適切な指導方法などにおいて十分に工夫されている。 - いじめ防止や情報モラルなどの現代的な課題について問題意識をもって主体的に考えられるように配慮されている。 - 他教科と関連する題材や特別活動と関連した教材を積極的に取り入れており、教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図る構成がされている。